

明神上本城西9号線1号橋

橋長 5600

桁長 5580

支間長 5190

400

100

500

1530

400

【下部工】
断面修復工
表面含浸工

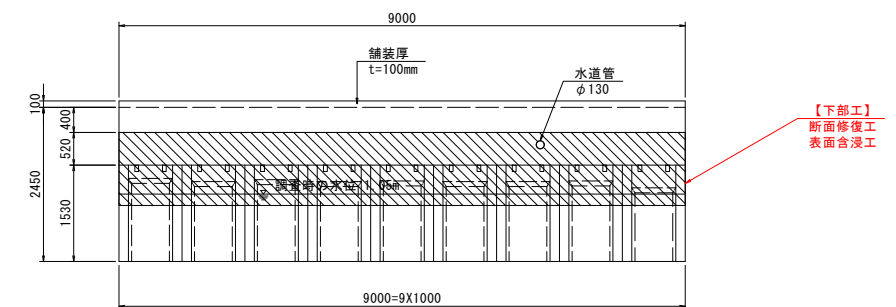
【下部工】
断面修復工
表面含浸工

（土）（鋼管杭位置）

A1

A2

A1橋台



Technical drawing of a cross-section of a road structure. The drawing shows a 9000mm wide section with a 100mm thick top layer (鋪裝厚 $t=100\text{mm}$). Below this is a 400mm thick layer (水道管 $\phi 130$). The main body is a 2450mm thick layer (側溝埋設水栓) with a 1530mm thick sub-layer (断面修復工 表面含浸工). The bottom layer is 9000=9X1000mm wide. A red arrow points to the bottom layer with the text '【下部工】断面修復工 表面含浸工'.

橋長 5600
 桁長 5580
 支間長 5190

水道管
 $\phi 130$

明神上本城西9号線1号橋

【下部工】
 断面修復工
 表面含浸工

明神上本城西9号線

90° 00' 00"

90° 00' 00"

3000
 8400
 9000

200 430
 630

400 200
 600

A1 A2

上工程図

図面番号	第 1 号	図面総数	全 4 葉			
工事名称	明神上本城西9号線1号橋橋梁補修工事					
図名	平面図 他		縮尺：図示			
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度			
係員	課 長	副課長	係 長	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課						

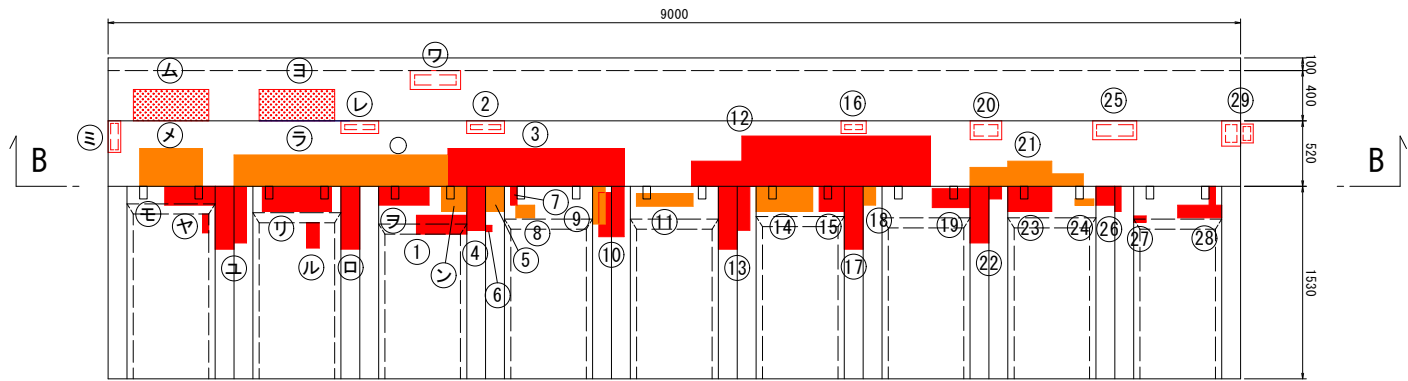
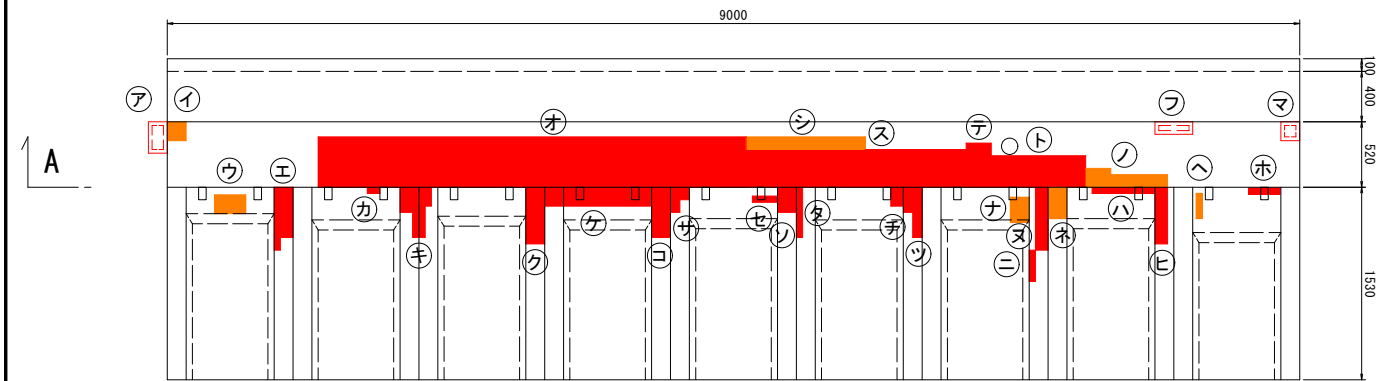
補修詳細図(その1) S=1:30

明神上本城西9号線1号橋

断面修復工

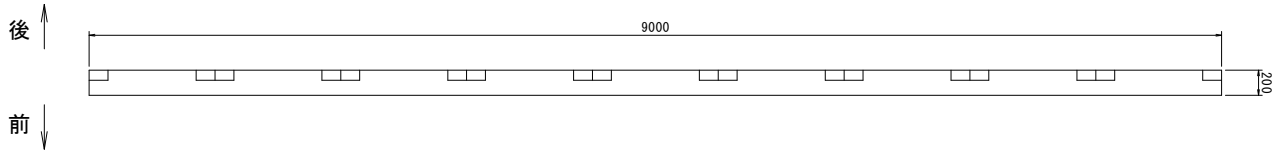
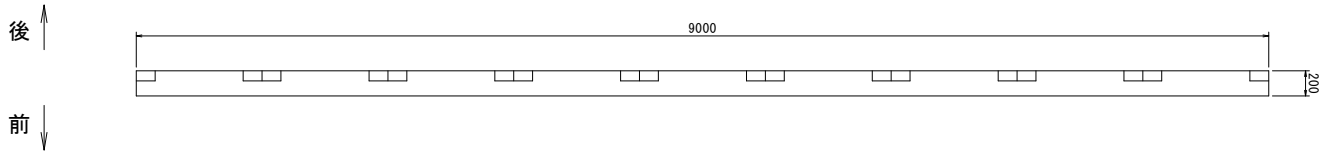
A1橋台

A2橋台



縦壁下面
(A-A)

縦壁下面
(B-B)



凡 例	
う き	
剥 離	
鉄筋露出	

凡例
ア～:断面修復工法

凡 例	
う き	
剥 離	
鉄筋露出	

凡例
ア～:断面修復工法

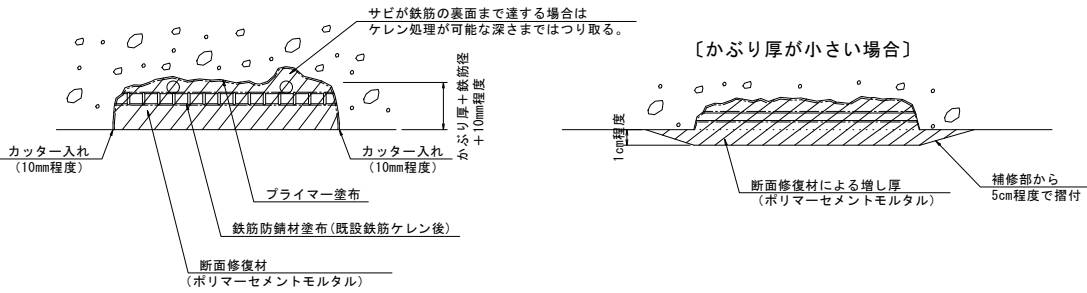
断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m ²]	体積 V [m ³]
縦壁0101	ア	剥離	150	250	50	0.0375	0.0019
縦壁0101	イ	うき	150	150	50	0.0225	0.0011
縦壁0101	ウ	うき	150	250	50	0.0375	0.0019
縦壁0101	エ	鉄筋露出	150	500	50	0.0750	0.0038
縦壁0101	オ	鉄筋露出	400	3400	50	1.3600	0.0680
縦壁0101	カ	鉄筋露出	50	100	50	0.0050	0.0003
縦壁0101	キ	鉄筋露出	250	400	50	0.1000	0.0050
縦壁0101	ク	鉄筋露出	150	400	50	0.0600	0.0030
縦壁0101	ケ	鉄筋露出	150	350	50	0.1275	0.0064
縦壁0101	コ	鉄筋露出	150	400	50	0.0600	0.0030
縦壁0101	サ	鉄筋露出	150	200	50	0.0300	0.0015
縦壁0101	シ	うき	100	950	50	0.0950	0.0048
縦壁0101	ス	鉄筋露出	300	1750	50	0.5250	0.0263
縦壁0101	セ	鉄筋露出	50	200	50	0.0100	0.0005
縦壁0101	ソ	鉄筋露出	150	200	50	0.0300	0.0015
縦壁0101	タ	鉄筋露出	50	400	50	0.0200	0.0010
縦壁0101	チ	鉄筋露出	200	250	50	0.0500	0.0025
縦壁0101	ツ	鉄筋露出	75	200	50	0.0150	0.0008
縦壁0101	テ	鉄筋露出	100	200	50	0.0200	0.0010
縦壁0101	ト	鉄筋露出	250	950	50	0.2375	0.0119
縦壁0101	ナ	うき	150	200	50	0.0300	0.0015
縦壁0101	ニ	鉄筋露出	50	250	50	0.0125	0.0006
縦壁0101	ヌ	鉄筋露出	100	500	50	0.0500	0.0025
縦壁0101	ネ	うき	150	250	50	0.0375	0.0019
縦壁0101	ノ	うき	150	650	50	0.0975	0.0049
縦壁0101	ハ	鉄筋露出	50	500	50	0.0250	0.0013
縦壁0101	ヒ	鉄筋露出	100	450	50	0.0450	0.0023
縦壁0101	フ	剥離	100	300	50	0.0300	0.0015
縦壁0101	ヘ	うき	50	200	50	0.0100	0.0005
縦壁0101	ホ	鉄筋露出	50	250	50	0.0125	0.0006
縦壁0101	マ	剥離	150	150	50	0.0225	0.0011

断面修復面積(左官工法)

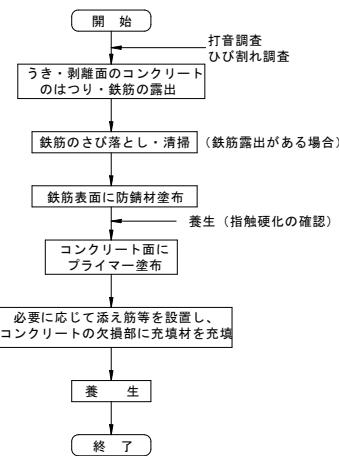
部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m ²]	体積 V [m ³]
縦壁0102	ミ	剥離	100	250	50	0.0250	0.0013
縦壁0102	ム	豆板	250	600	50	0.1500	0.0075
縦壁0102	メ	うき	300	500	50	0.1500	0.0075
縦壁0102	モ	鉄筋露出	150	400	50	0.0600	0.0030
縦壁0102	ヤ	鉄筋露出	50	150	50	0.0075	0.0004
縦壁0102	ユ	鉄筋露出	250	500	50	0.1250	0.0063
縦壁0102	ヨ	豆板	250	600	50	0.1500	0.0075
縦壁0102	ラ	うき	250	1700	50	0.4250	0.0213
縦壁0102	リ	鉄筋露出	200	550	50	0.1100	0.0055
縦壁0102	ル	鉄筋露出	100	200	50	0.0200	0.0010
縦壁0102	レ	剥離	100	300	50	0.0300	0.0015
縦壁0102	ロ	鉄筋露出	150	500	50	0.0750	0.0038
縦壁0102	ワ	剥離	150	400	50	0.0600	0.0030
縦壁0102	ヲ	鉄筋露出	150	400	50	0.0600	0.0030
縦壁0102	ン	うき	200	200	50	0.0400	0.0020
縦壁0102	1	鉄筋露出	150	400	50	0.0600	0.0030
縦壁0102	2	剥離	100	300	50	0.0300	0.0015
縦壁0102	3	鉄筋露出	300	1400	50	0.4200	0.0210
縦壁0102	4	鉄筋露出	150	350	50	0.0525	0.0026
縦壁0102	5	うき	150	200	50	0.0300	0.0015
縦壁0102	6	鉄筋露出	50	50	50	0.0025	0.0001
縦壁0102	7	鉄筋露出	50	150	50	0.0075	0.0004
縦壁0102	8	うき	100	150	50	0.0150	0.0008
縦壁0102	9	うき	50	300	50	0.0150	0.0008
縦壁0102	10	鉄筋露出	200	400	50	0.0800	0.0040
縦壁0102	11	うき	100	450	50	0.0450	0.0023
縦壁0102	12	鉄筋露出	400	1900	50	0.7600	0.0380
縦壁0102	13	鉄筋露出	250	400	50	0.1000	0.0050
縦壁0102	14	うき	200	450	50	0.0900	0.0045
縦壁0102	15	鉄筋露出	200	200	50	0.0400	0.0020
縦壁0102	16	剥離	100	200	50	0.0200	0.0010
縦壁0102	17	鉄筋露出	150	500	50	0.0750	0.0038
縦壁0102	18	うき	100	150	50	0.0150	0.0008
縦壁0102	19	鉄筋露出	150	300	50	0.0450	0.0023
縦壁0102	20	剥離	150	250	50	0.0375	0.0019
縦壁0102	21	うき	200	900	50	0.1800	0.0090
縦壁0102	22	鉄筋露出	250	450	50	0.1125	0.0056
縦壁0102	23	鉄筋露出	200	350	50	0.0700	0.0035
縦壁0102	24	うき	50	150	50	0.0075	0.0004
縦壁0102	25	剥離	150	350	50	0.0525	0.0026
縦壁0102	26	鉄筋露出	200	200	50	0.0400	0.0020
縦壁0102	27	鉄筋露出	50	100	50	0.0050	0.0003
縦壁0102	28	鉄筋露出	250	350	50	0.0875	0.0044
縦壁0102	29	剥離	200	250	50	0.0500	0.0025

断面修復工詳細図



- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フェーザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って磨り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の寄線等の残鉄は可能な限り除去して断面修復すること。
- ※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10～20mm程度)
- ※ 豆板部で粗骨材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

〔断面修復工法の施工要領〕

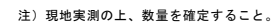
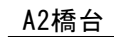


図面番号	第 2 号	図面総数	全 4 葉
工事名称	明神上本城西9号線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修設計図 他	縮 尺：図 示	
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課 長	副課長	係 長
			係 員
設計・製図 照 査			
鳴門市 都市建設部 土木課			

注) 現地実測の上、数量を確定すること。
注) 内部鋼材の腐食により断面欠損が発生している箇所については断面性能回復を目的として、適宜、添え筋を行うこと。

明神上本城西9号線1号橋

A1橋台



```

graph TD
    A[はつり(鉄筋まではチップー)] --> B[はつり(鉄筋背面電動ピック)]
    B --> C[サンドブラストによる除錆(Sa2)]
    C --> D[鉄筋防錆剤塗布]
    D --> E[アクアシール1400AR同等品以上塗布(断面修復部)]
    E --> F[プライマー塗布]
    F --> G[断面修復材充填  
(ポリマーセメントモルタル)]
    G --> H[アクアシール1400AR同等品以上塗布(コンクリート)]
  
```

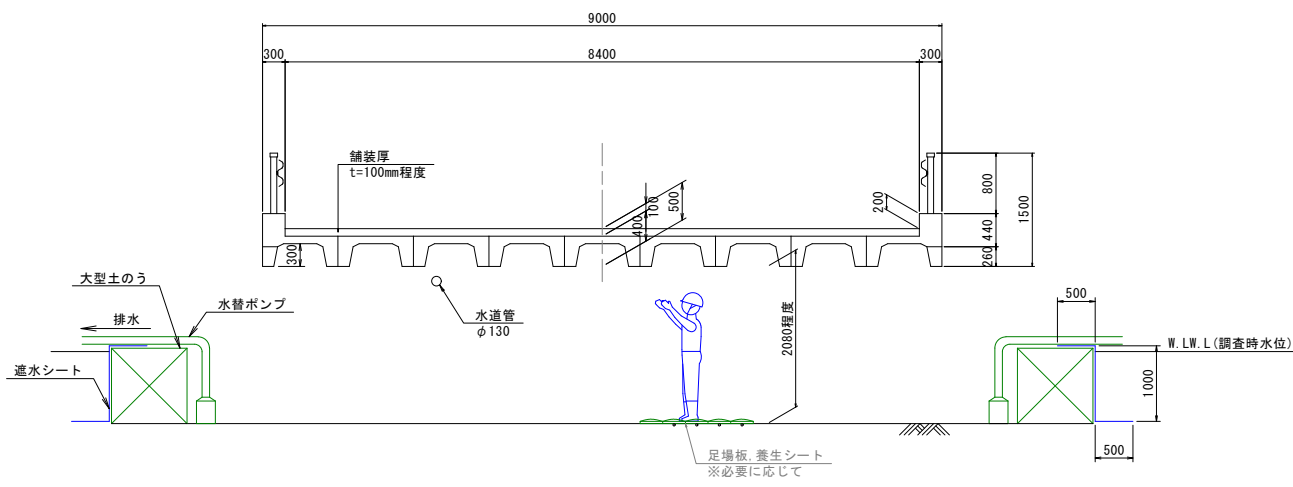
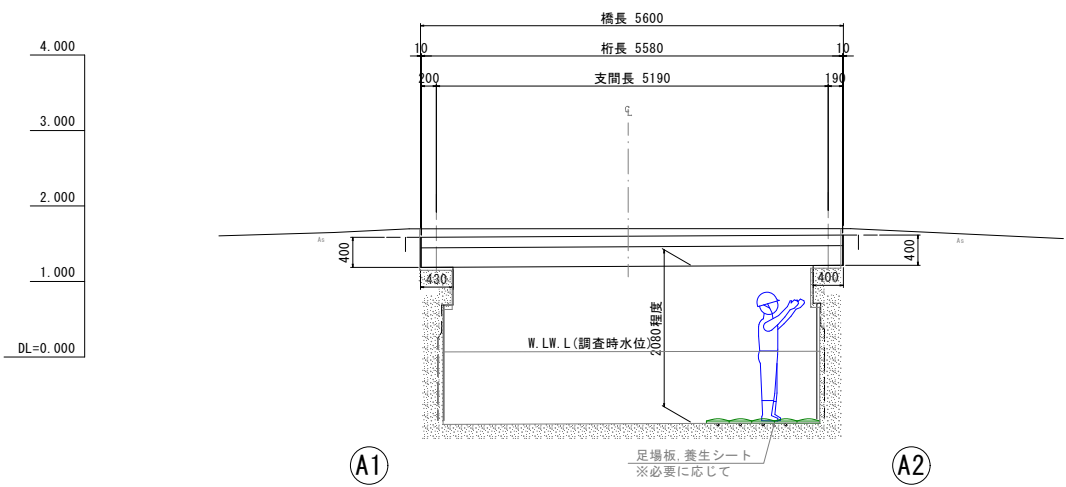
図面番号	第 3 号	図面総数	全 4 葉
工事名称	明神上本城西9号線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修設計図 他		縮 尺 : 図 示
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課 長	副課長	係 長
	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課			

施工要領図 S=1:50

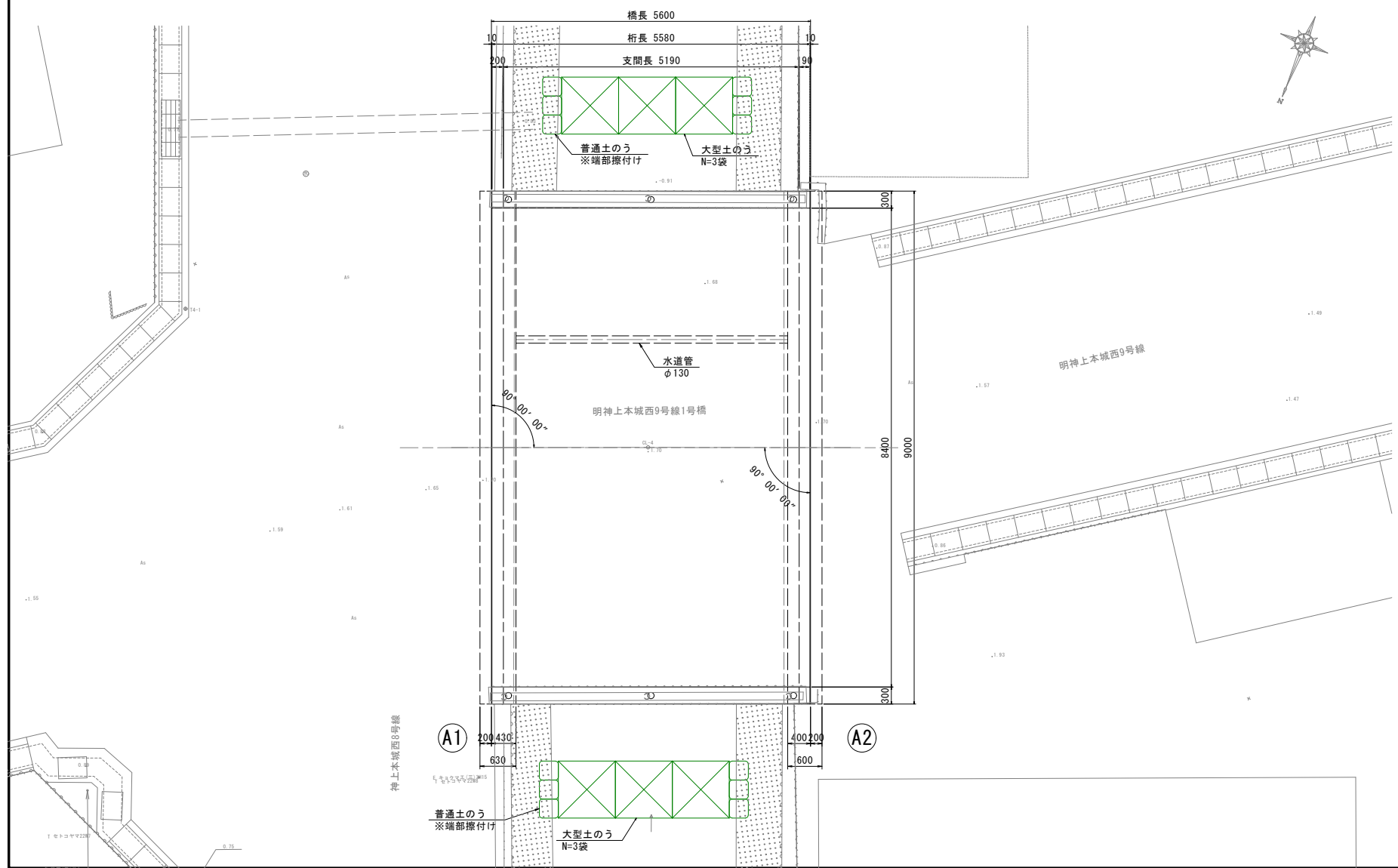
明神上本城西9号線1号橋

側面図

断面図



平面図



図面番号	第 4 号		図面総数	全 4 葉		
工事名称	明神上本城西9号線1号橋橋梁補修工事					
図名	施工要領図 他				縮尺：図示	
製作年月	令和7年7月		所属年度		令和7年度	
係員	課 長	副課長	係 長	係 員	設計・製図	照 査
鳴門市 都市建設部 土木課						